

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 04-01-06	事務事業名 3歳児健康診査事業費	所管部課 市民部 健康課
-------------------	---------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	身体発育及び精神発達の面から重要な時期である3歳児に健康診査を実施することにより、健康を阻害する因子・障害を早期に発見し、適正な医療・回復の援助につなげるとともに、保護者への相談を通じて育児支援を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等/補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 実施方法は、集団方式で保谷保健福祉総合センターで年30回実施。実施内容としては、医師による健康診査(内科・歯科・視力・聴覚)、保健指導及び心理相談を行い、各種専門職員による集団指導(オリエンテーション・保健・栄養・歯科)と個別相談(心理・栄養・保健・歯科等)、身体計測を実施している。内科診察は医師会の医師2名と、大学病院の医師1名で行っている。 (予算：4.1.3.23 3歳児健康診査事業費)	
事業開始時期	9 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		13,256	12,899	12,677	13,939
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		1,510	1,361	1,363	1,486
地方債	千円	0	0	0	0
その他 ()		0	0	0	0
一般財源		11,746	11,538	11,314	12,453
所要人員(B)	人	0.3	0.3	0.3	0.3
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	2,450	2,424	2,424	2,450
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	15,706	15,323	15,101	16,389
単位当たりコスト(E)=(D)/(受診者数)	千円	11	11	11	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
①開催回数	実績値 回	30	30	29	30
②通知者数	実績値 人	1,565	1,595	1,568	1,700
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①開催回数⇒年間の開催回数 / ②健診実施のために通知を発送した対象者数 *平成22年度に関しては震災の影響により実施回数が予定より1回減となっている					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 受診者数	目標値 人	1,408	1,476	1,411	1,547
	実績値 人	1,449	1,394	1,430	
二 受診率	目標値 %	90	90	90	90
	実績値 %	92.6	87	91	
《指標の説明・数値変化の理由 など》					
①受診者数⇒3歳から4歳未満までの年齢で当該年度に受診した人数 ②受診率⇒受診者/対象者					

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	集団健診だが個別相談ではじっくり話を聞いてもらえよかった。上の子の時より流れがスムーズになったが、もう少し待ち時間が短くなるとういと思うが、検査内容も多いので仕方ないかなとも感じる。健診で診察してくれた先生がよかったので紹介してもらいたい。地域の情報が教えてもらえよかった。など。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 母子保健法に基づく事業で実施基準が定められており、各市で同様のサービスを提供しており、受診率もほぼ同レベルである。 受診者全員が視能訓練士による視力検査を行っていることは当市の特色の一つである。
	代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 代替・類似サービスはない。

事業コード 04-01-06	事務事業名 3歳児健康診査事業費	所管部課 市民部 健康課
-------------------	------------------	--------------------

施策コード 笑2-1	施策名 健康づくりの推進	施策目標 乳幼児から高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた、からだところの健康づくりを支援します。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービスの 相手方	3	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	3	

3歳児健診は就学前の最後の法定健診となっている。個別実施している1歳6か月児健診後に受診者の発達状況や養育状況を把握することにより、必要に応じた市内における支援体制につなげることができる。
 集団健診は誰もが受診する事業であり、構えることなく自然な形で必要に応じた支援体制をとっていきける。そのため、要保護・要支援対策の取り組みを行っていく上では、個別での1歳6か月児健診後に直営での健診を行う意味は深く、今後も他機関・他事業との連携に配慮しながら継続実施すべきと考える。
 保谷保健福祉総合センターで実施し、これまでも医師会・歯科医師会等と調整しながら開催回数の見直しを行っている。回数の見直しがサービスの低下につながらないよう、健診内容・人の流れ等に配慮している。
 「健康づくり推進プラン」での受診率の指標は90%以上現状維持としている。平成21年度の都平均受診率は89.6%だが、当市は上回っており、ほぼ達成できているといえる。
 都の平均有所見率27.6%と比べると、市は24.6%でやや低いが、50%タイル以内にある。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止
	事業の 必要性	3	
	事業主体の 妥当性	3	
B	直接のサービスの 相手方	2	
	事業内容等の 適切さ	3	
	受益者負担の 適切さ	3	
C	市民ニーズの 把握	2	

前回の行政評価（二次評価）において、1受診者当たりの経費が11千円と高い事が、改善取組みとして指摘されているが、いまだに改善されていない。内容分析とともにコストの見直しに一層努力されたい。また本事業は、要保護・要支援の観点からも非常に重要な事業であることに留意し、有所見率の検証と他機関との連携を密に実施されたい。

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、幼児の発達状況を見る重要な機会となっており、受診率も目標値を上回っていることから、今後も現在の水準の維持・向上に努められたい。</p> <p>ただし、二次評価で指摘のある受診者当りの単位コストの抑制については、適宜、実施回数や実施方法等の見直しを検討し、可能な限り効率的かつ効果的な事業実施に努められたい。</p>